

## 平成22年2月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 らでいっしゅぼーや株式会社

コード番号 3146 URL <http://www.radishbo-ya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 緒方 大助

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経営企画部長 (氏名) 秋田 二郎

TEL 03-5777-8640

四半期報告書提出予定日 平成21年10月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年2月期第2四半期の業績(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	11,078	—	242	—	255	—	105	—
21年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第2四半期	15.25	15.23
21年2月期第2四半期	—	—

(注)当社は、平成22年2月期より四半期財務諸表を作成しているため、平成21年2月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第2四半期	8,594	3,693	43.0	535.61
21年2月期	8,833	3,636	41.2	527.36

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 3,693百万円 21年2月期 3,636百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	0.00	—	7.00	7.00
22年2月期	—	0.00	—	—	—
22年2月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年2月期の業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,115	5.4	711	△14.8	720	△7.3	329	△8.3	47.74

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第2四半期 6,896,817株 21年2月期 6,895,817株

② 期末自己株式数 22年2月期第2四半期 一株 21年2月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年2月期第2四半期 6,895,876株 21年2月期第2四半期 4,791,845株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、1株当たり当期純利益は、当第2四半期の期中平均株式数を基に算出しております。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

**【定性的情報・財務諸表等】**

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成21年3月1日から平成21年8月31日）におけるわが国経済は、昨年来の国際金融危機の深刻化を背景に、企業収益の悪化による設備投資の縮小や雇用情勢の悪化、円高による輸出の減速などが続いており、内外需ともに依然として厳しい状況が続いております。

食品業界におきましても、景気低迷が続くなか、消費者の生活防衛意識の高まりによる買い控えや節約志向により個人消費が伸び悩み、経営環境は一層厳しいものとなりました。

このような経営環境のもと、当社におきましては、引き続き、各種キャンペーンによる新規会員獲得に努め、経営基盤の強化を図ってまいりました。

一方、販売費及び一般管理費では、設備投資計画の見直しに伴う減価償却費や業務委託費の減少のほか、全般的なコストの見直しも進め、諸経費の抑制に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高11,078百万円、営業利益は242百万円、経常利益は255百万円、四半期純利益は105百万円となりました。

なお、平成22年2月期第1四半期に係る経営成績に関する定性的情報については、平成22年2月期第1四半期決算短信（平成21年7月10日開示）をご参照ください。

なお、当社は、前年同四半期累計期間（平成20年3月1日から平成20年8月31日まで）における四半期財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期累計期間対比はしておりません。

企画分類別売上高につきましては、次のとおりであります。

## ①定期品

定期品は、ポイントキャンペーン等による新規会員の獲得を行ったため、売上高は3,979百万円となりました。

## ②注文体

注文体は、4月からの配送料値下げ効果による注文率の上昇や、各種ポイントキャンペーン、チラシによる販売促進活動などにより、売上高は6,953百万円となりました。

## ③その他

その他は、一般企業向け卸売が増加したことや、登録会員からの入会費及び年会費の収入が増加したことなどにより、売上高は145百万円となりました。

品目分類別売上高につきましては、次のとおりであります。

## ①食品

食品は、販売促進活動による根菜類などの受注が好調を維持したことなどにより、売上高は9,837百万円となりました。

## ②非食品

非食品は、衣料品などの受注が増加したことなどにより、売上高は1,108百万円となりました。

## ③その他

その他は、登録会員からの入会費及び年会費の収入が増加したことなどにより、売上高は132百万円となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は4,411百万円となり、前事業年度末残高4,590百万円と比較して178百万円減少いたしました。これは、現金及び預金が300百万円増加したものの、売掛金が554百万円減少したことなどによるものであります。

### (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は4,182百万円となり、前事業年度末残高4,242百万円と比較して60百万円減少いたしました。これは、有形固定資産におけるリース資産が29百万円増加したものの、のれん償却額90百万円の計上に伴い、無形固定資産が減少したことなどによるものであります。

### (流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は3,116百万円となり、前事業年度末残高3,235百万円と比較して118百万円減少いたしました。これは、買掛金が118百万円増加したものの、未払金が122百万円減少、未払法人税等が102百万円減少したことなどによるものであります。

### (固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は1,783百万円となり、前事業年度末残高1,961百万円と比較して177百万円減少いたしました。これは、長期借入金の返済により215百万円減少したことなどによるものであります。

### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は3,693百万円となり、前事業年度末残高3,636百万円と比較して57百万円増加いたしました。これは、剰余金の配当により48百万円減少したものの、四半期純利益105百万円を計上したことなどによるものであります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前事業年度末と比較して300百万円増加し1,809百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は712百万円となりました。これは、たな卸資産の増加額50百万円、法人税等の支払額250百万円などの資金減少要因があったものの、税引前四半期純利益249百万円、売上債権の減少額554百万円、仕入債務の増加額118百万円などの資金増加要因があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は148百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出24百万円、無形固定資産の取得による支出118百万円などの資金減少要因によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は264百万円となりました。これは、長期借入金の返済による支出215百万円、配当金の支払額47百万円などの資金減少要因によるものであります。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年2月期の業績につきましては、平成21年10月2日公表の業績予想の修正に関するお知らせのとおり、当第2四半期累計期間においては、好調に推移しましたが、世界的な経済環境の変化に伴う個人消費の低迷などを受けて、経営環境の先行きは依然、不透明な状況にあると認識しております。このため、平成22年2月期通期の業績予想は変更しておりません。

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

##### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### ①四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

なお、第1四半期会計期間(平成21年3月1日から平成21年5月31日まで)から、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第6条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期財務諸表等規則を早期に適用しております。

###### ②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当事業年度の第1四半期会計期間から平成18年7月5日公表の「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第9号）を適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、この変更により損益に与える影響はありません。

###### ③リース取引に関する会計基準等の適用

当事業年度の第1四半期会計期間から平成19年3月30日改正の「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第16号）を早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期累計期間のリース資産が有形固定資産に29,981千円計上されており、またこれによる損益への影響は軽微であります。

##### (3) 追加情報

###### 有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械及び装置については、従来、耐用年数を6年～13年としておりましたが、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期会計期間より8年～15年に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期 会計期間末 (平成21年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,809,659	1,509,624
売掛金	2,017,126	2,571,776
商品及び製品	389,235	338,188
原材料及び貯蔵品	15,233	15,712
その他	394,302	346,205
貸倒引当金	△213,824	△190,924
流動資産合計	4,411,733	4,590,583
固定資産		
有形固定資産	427,579	411,205
無形固定資産		
のれん	3,000,755	3,091,687
その他	412,134	400,448
無形固定資産合計	3,412,889	3,492,135
投資その他の資産		
その他	392,324	388,948
貸倒引当金	△50,382	△49,514
投資その他の資産合計	341,941	339,434
固定資産合計	4,182,410	4,242,775
資産合計	8,594,143	8,833,358
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,720,363	1,601,437
1年内返済予定の長期借入金	430,000	430,000
未払法人税等	155,674	257,932
賞与引当金	83,626	80,699
役員賞与引当金	1,764	8,711
販売促進引当金	7,631	1,322
その他	717,590	855,351
流動負債合計	3,116,649	3,235,454
固定負債		
長期借入金	1,495,000	1,710,000
退職給付引当金	209,621	200,666
役員退職慰労引当金	42,400	40,300
その他	36,489	10,379
固定負債合計	1,783,511	1,961,346
負債合計	4,900,160	5,196,800

(単位：千円)

	当第2四半期 会計期間末 (平成21年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	855,965	855,705
資本剰余金	2,268,551	2,268,291
利益剰余金	569,466	512,561
株主資本合計	3,693,983	3,636,558
純資産合計	3,693,983	3,636,558
負債純資産合計	8,594,143	8,833,358

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)
売上高	11,078,867
売上原価	7,014,033
売上総利益	4,064,834
販売費及び一般管理費	3,822,643
営業利益	242,191
営業外収益	
受取手数料	12,466
期限切品処分収入	6,054
その他	11,447
営業外収益合計	29,968
営業外費用	
支払利息	14,675
その他	2,059
営業外費用合計	16,734
経常利益	255,424
特別損失	
固定資産除却損	600
減損損失	5,168
特別損失合計	5,769
税引前四半期純利益	249,654
法人税、住民税及び事業税	149,553
法人税等調整額	△5,074
法人税等合計	144,478
四半期純利益	105,176

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	249,654
減価償却費	36,255
ソフトウェア償却費	44,253
のれん償却額	90,931
減損損失	5,168
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23,767
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	6,308
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,926
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,947
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,954
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,100
受取利息	△578
支払利息	14,675
固定資産除却損	600
売上債権の増減額 (△は増加)	554,650
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△50,567
仕入債務の増減額 (△は減少)	118,926
その他	△123,701
小計	977,379
利息及び配当金の受取額	542
利息の支払額	△14,675
法人税等の支払額	△250,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	712,917
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△24,966
無形固定資産の取得による支出	△118,167
関係会社株式の取得による支出	△1,430
関係会社貸付けによる支出	△10,000
貸付金の回収による収入	2,970
差入保証金の差入による支出	△422
差入保証金の回収による収入	6,390
その他	△3,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148,660
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△215,000
株式の発行による収入	520
リース債務の返済による支出	△2,260
配当金の支払額	△47,481
財務活動によるキャッシュ・フロー	△264,222
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	300,034
現金及び現金同等物の期首残高	1,509,624
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,809,659

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)		
	金額(千円)	百分比 (%)	
I 売上高		11,221,682	100.0
II 売上原価		7,129,680	63.5
売上総利益		4,092,002	36.5
III 販売費及び一般管理費		3,741,290	33.4
営業利益		350,711	3.1
IV 営業外収益		28,398	0.2
V 営業外費用		39,710	0.3
経常利益		339,399	3.0
VI 特別利益		3,088	0.0
VII 特別損失		3,236	0.0
税引前中間純利益		339,250	3.0
法人税、住民税及び事業税	167,058		
法人税等調整額	16,246	183,304	1.6
中間純利益		155,946	1.4

## (2) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	339,250
減価償却費	35,901
ソフトウェア償却費	39,493
のれん償却額	90,931
減損損失	3,069
貸倒引当金の減少額	△8,231
販売促進引当金の増加額	182
賞与引当金の増加額	3,795
退職給付引当金の増加額	4,782
役員退職慰労引当金の増加額	7,950
受取利息及び受取配当金	△1,161
支払利息	22,930
固定資産売却損	31
固定資産除却損	135
売上債権の減少額	281,824
たな卸資産の増加額	△74,747
仕入債務の増加額	108,834
その他	△74,930
小計	780,043
利息及び配当金の受取額	1,162
利息の支払額	△22,930
法人税等の支払額	△293,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	464,720

	前中間会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△93,123
無形固定資産の取得による支出	△69,566
無形固定資産の売却による収入	13
貸付金の回収による収入	3,566
差入保証金の差入れによる支出	△2,315
差入保証金の返還による収入	1,606
その他	△16,915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,735
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△215,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216,199
IV 現金及び現金同等物の増加額	71,785
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,062,497
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,134,282

## 6. その他の情報

## (1) 生産実績

当社は、最終消費者へ直接販売する小売業を営んでおりますので、生産実績は記載しておりませんが、当第2四半期累計期間における仕入実績を、品目分類別に示すと次のとおりであります。

なお、下記「(3) 販売実績」には、企画分類別の記載がありますが、当分類は販売に関する分類であるため、仕入実績としては記載しておりません。

## 品目分類別仕入状況

分類	当第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	
	仕入高(千円)	構成比(%)
農産品	3,128,888	44.2
畜産品	882,024	12.4
水産品	456,319	6.4
加工食品	1,888,326	26.7
食品計	6,355,558	89.7
日用品等	732,080	10.3
非食品計	732,080	10.3
その他計	1,318	0.0
合計	7,088,957	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当社は、最終消費者へ直接販売する小売業を営んでおりますので、受注実績は記載しておりません。

## (3) 販売実績

当社の当第2四半期累計期間における販売実績を、企画分類別、品目分類別に示すと次のとおりであります。

## (a) 企画分類別売上状況

分類	当第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	
	売上高(千円)	構成比(%)
定期品	3,979,956	35.9
注文品	6,953,070	62.8
その他	145,840	1.3
合計	11,078,867	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (b) 品目分類別売上状況

分類	当第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	
	売上高(千円)	構成比(%)
農産品	5,359,408	48.4
畜産品	924,414	8.3
水産品	689,495	6.2
加工食品	2,864,340	25.9
食品計	9,837,659	88.8
日用品等	1,108,470	10.0
非食品計	1,108,470	10.0
その他計	132,736	1.2
合計	11,078,867	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。